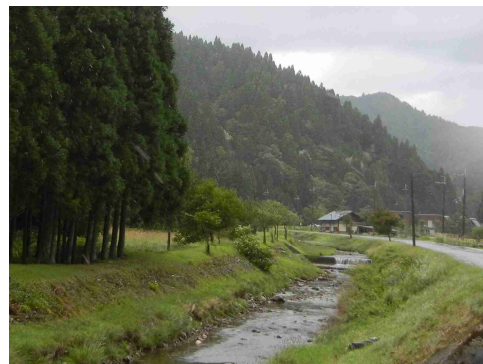
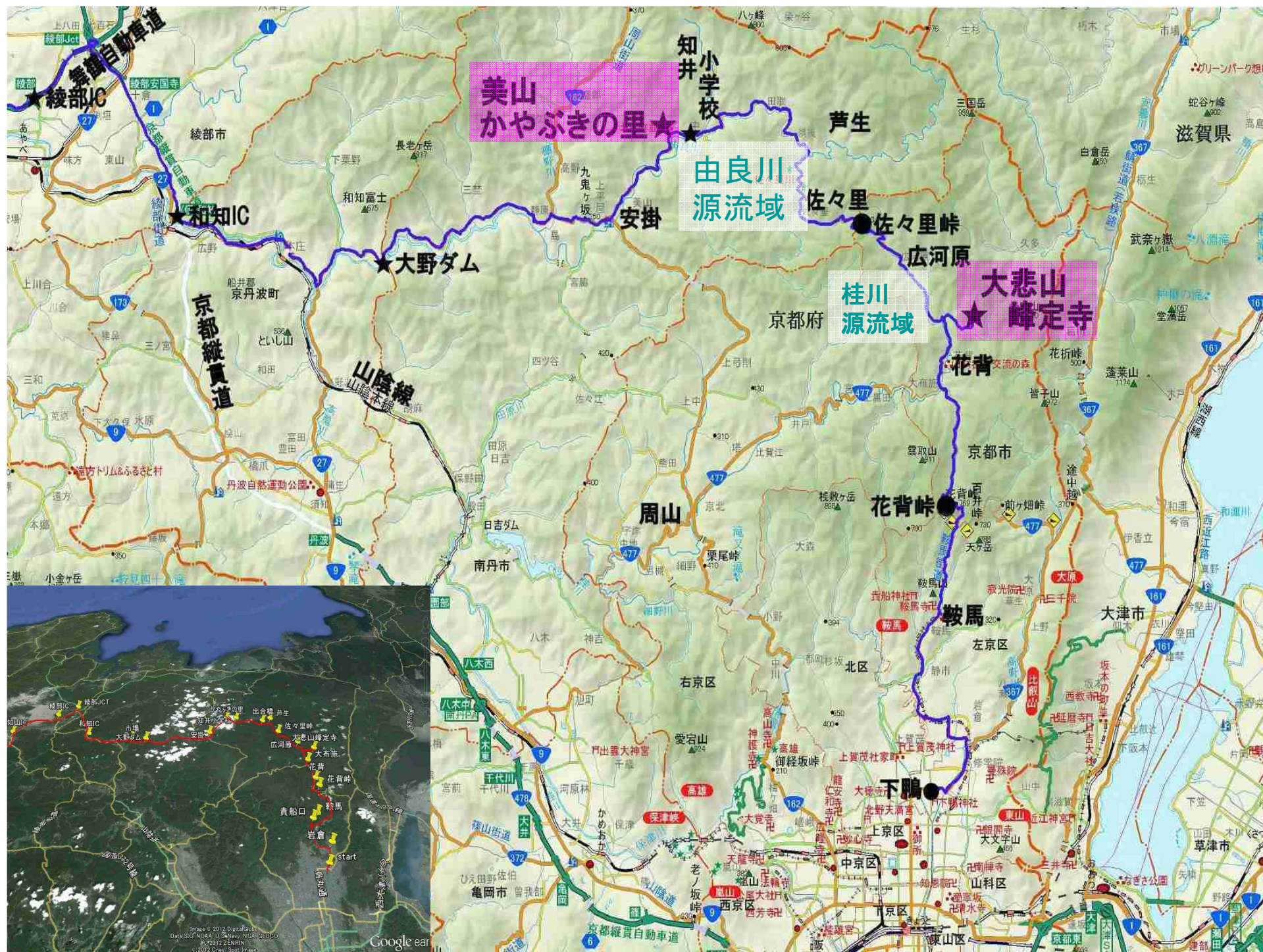


京都北山ドライブ 花脊峠・佐々里峠を越えて 由良川源流へ

北山の森・大悲山 峰定寺・美山「かやぶきの里」を訪ねる

2012.9.17.





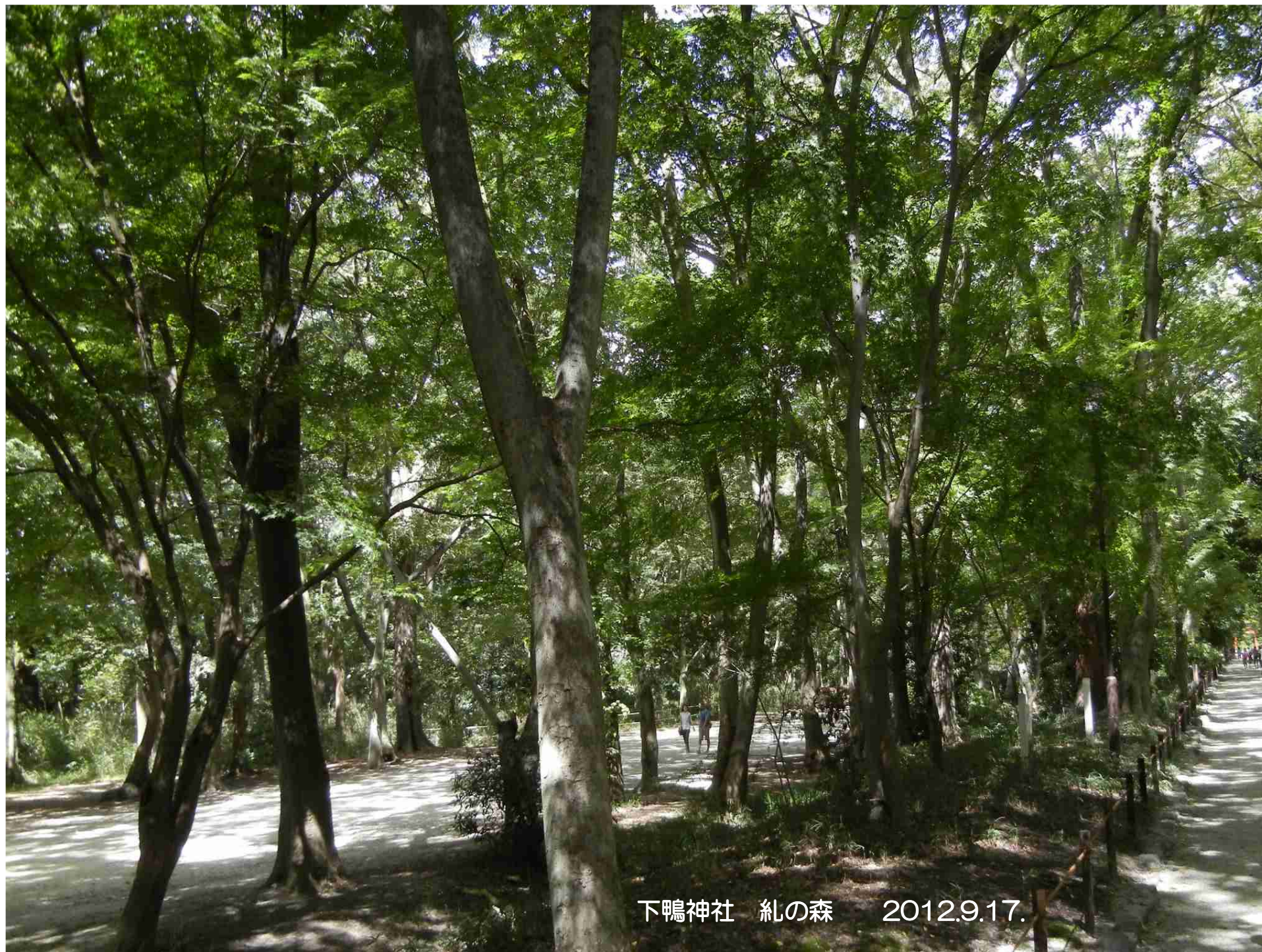


高野川・鴨川の合流点 出町から鴨川越しに眺める大文字山 2012.9.17.



渡ってみたかった賀茂大橋 横の飛び石 左:比叡山 右:大文字山 2012.9.17.





下鴨神社 糺の森 2012.9.17.



下鴨神社 糺の森 瀬見の小川 2012.9.17.



花背峠を越えて 花背で 川が北へ流れている 2012.9.17.

広河原へ入る手前 大悲山口で 崖に立つ峰定寺の舞台を思い出
し、美山荘も見たくなくて 大悲山に寄り道

大悲山は北の大峰とも呼ばれる険しい山で
山中に行場がある修験の山

北山の奥部静寂の森の中 大勢の山伏行者さんたちの姿と観光バスに
びっくり。

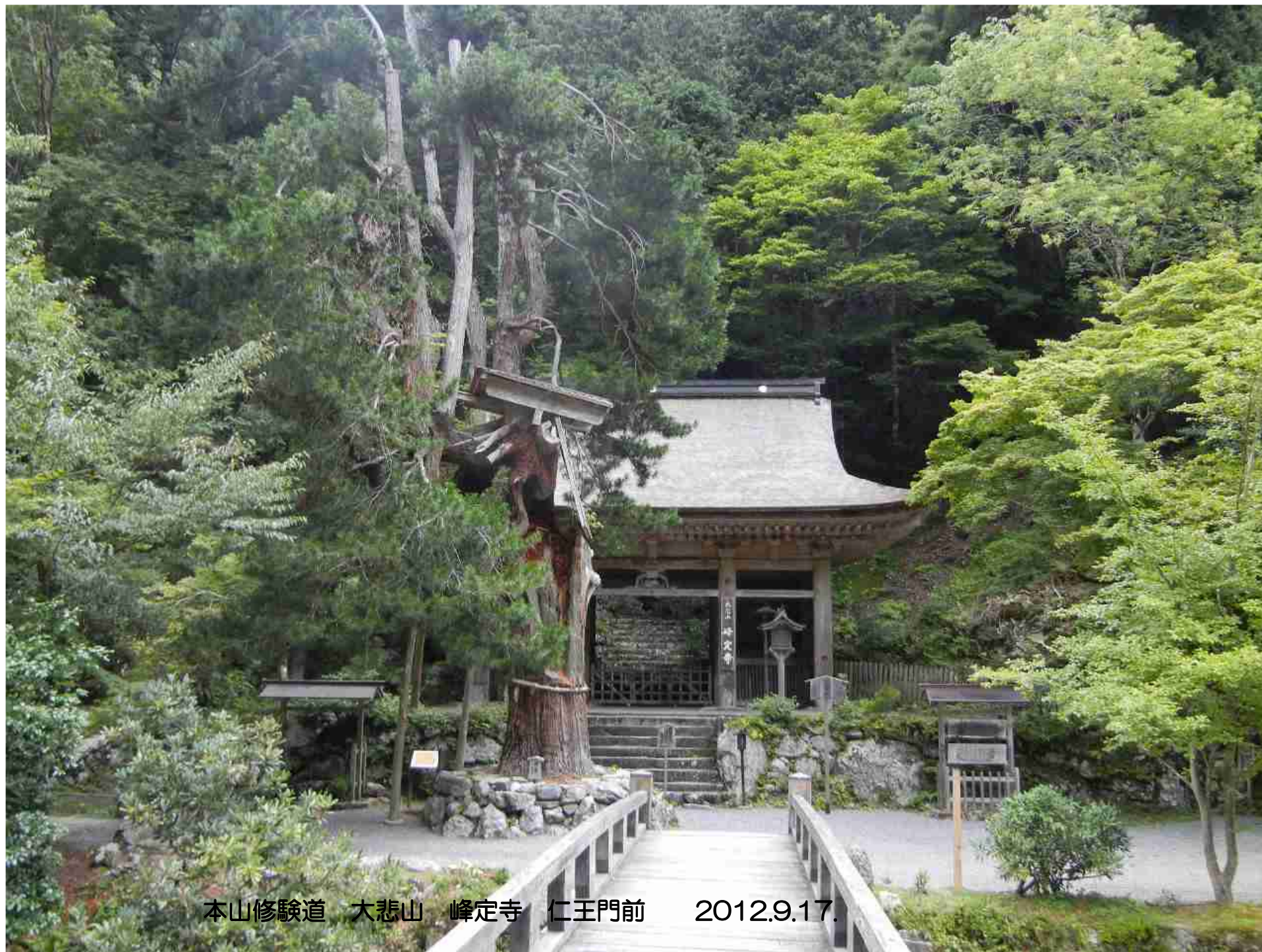
聞いて 判ったのですが、9月17日は本山修験宗峰定寺の年に一度の
「採燈護摩供」の日で 数多くの行者さんたちによって護摩行が行われ、
ご本尊の千手観音像も御開帳されているという。

ちょうど 行事が終わって 行者さんたちが、山の上の本堂参拝を終
え、山を降ってきたところ。
ラッキーにも千手観音参拝ができました。









本山修験道 大悲山 峰定寺 仁王門前 2012.9.17.



仁王門前 高野槇の神木 幹周3.8m、樹高20m。
定樹齡250年、主幹が折れてしまっているが、年代を感じる巨樹である

花背大悲山京都府歴史的な自然環境保全地域

大悲山は、平安末期の久寿元年(1154)山岳修験者観空西念によって峰定寺が創建されて以来、山全体が山岳信仰の霊境となっています。

指定地域は、その南斜面で古くから自然が守られてきたところであり、今日モミ、ツガのすぐれた天然林となっています。この森林では、ヒメコマツ、ホンシャクナゲ、ヒカゲツツジなどの貴重な植物や種類の豊富なシダ植物の群生地が見られます。

また、峰定寺本堂、仁王門、由緒ある行場等が周囲の自然環境と一体となって歴史的風土が保持されています。

このような美しい自然、大切な自然を永く子孫に伝えましょう。

特別地区では、土地の形質の変更、土石の採取等の行為は許可できません。

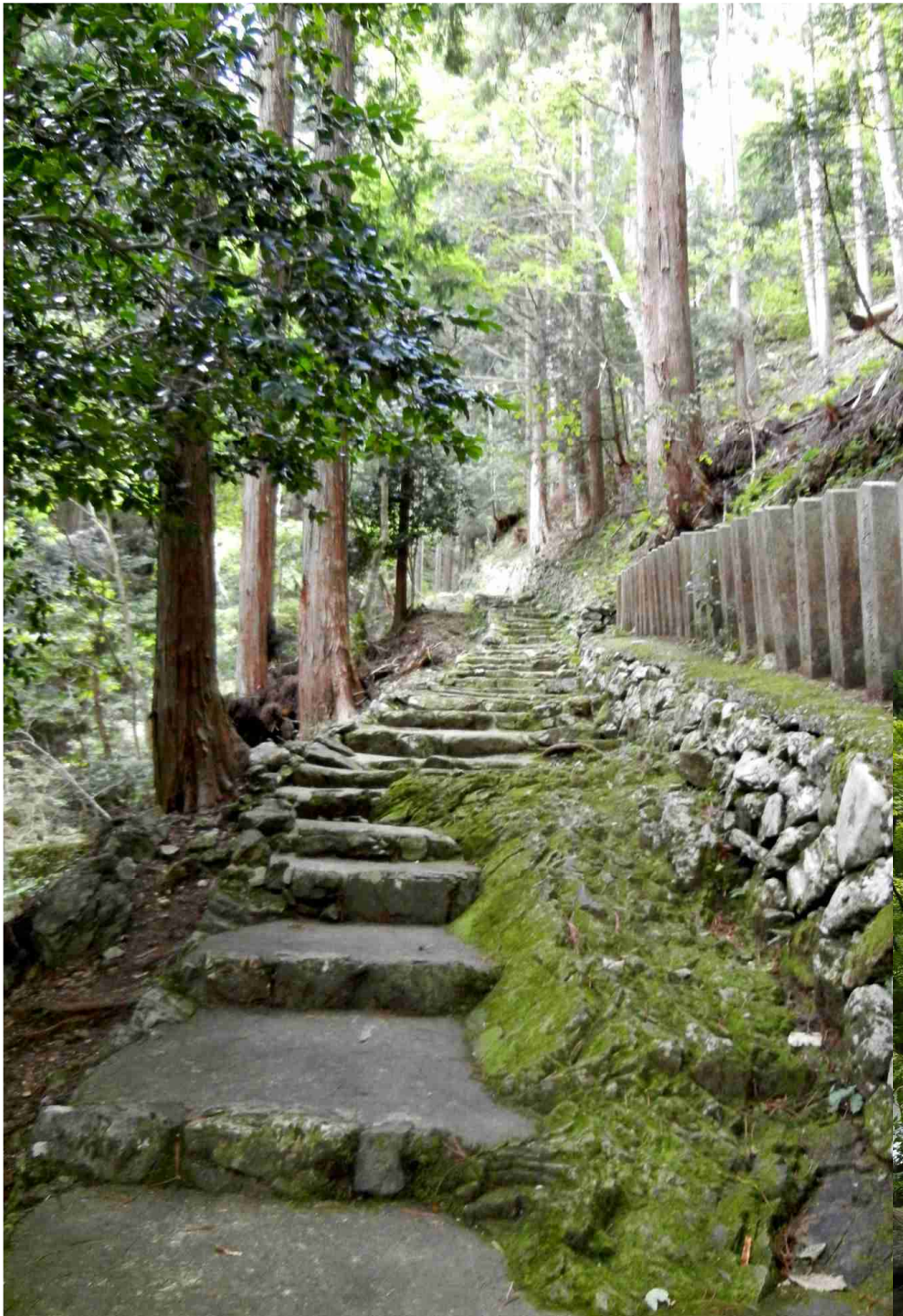
野生動植物保護地区では、貴重な植物の採取はできません。

昭和60年3月15日指定

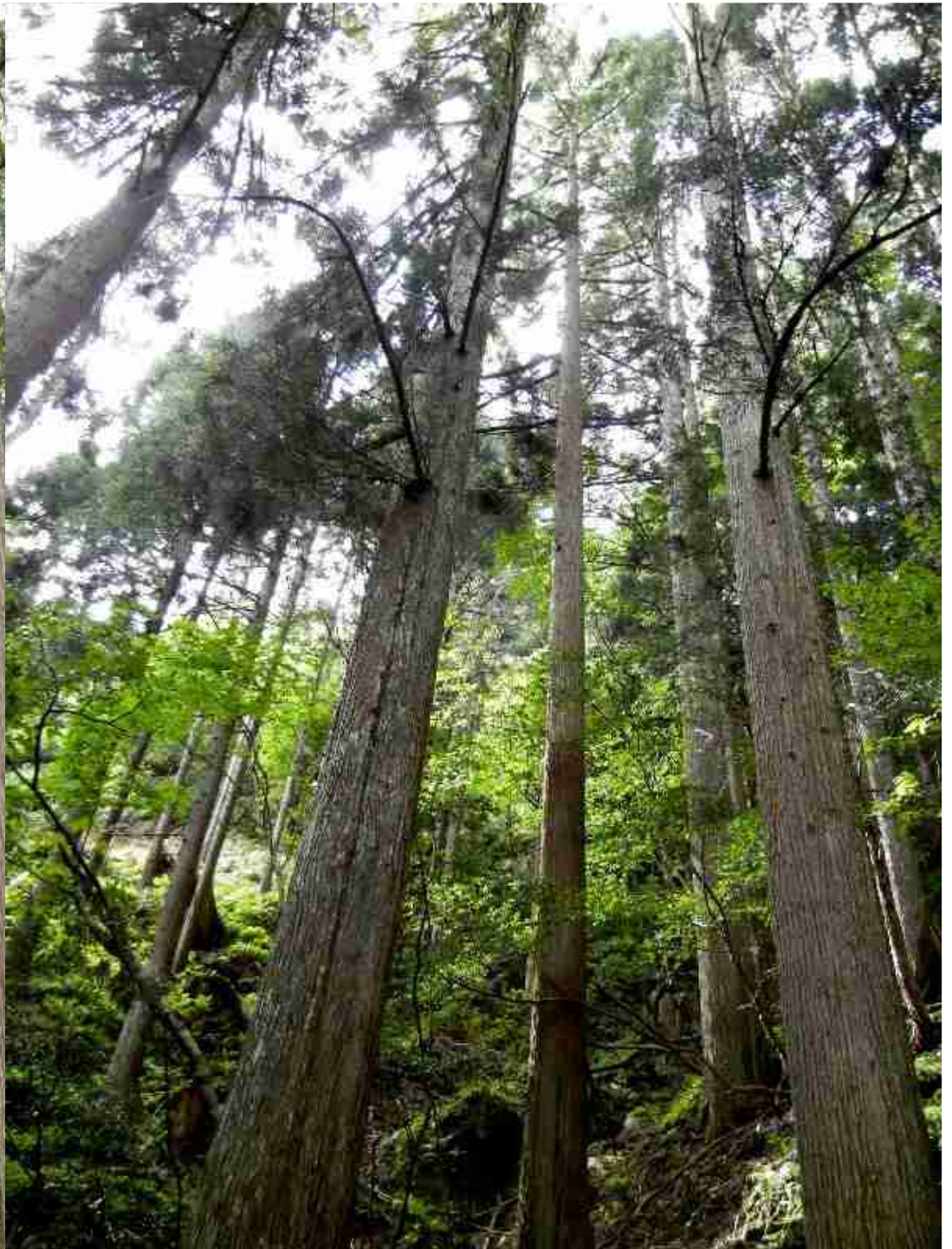
京都府













花背大悲山
京都府歴史的自然環境保全地
（昭和60年2月15日指定（京都市左京区））

峰定寺の本堂は、仁平四年（1154年）創建の建物を貞和6年（1350年）に再建したもので、山腹の崖面に懸造で建てられており、山寺の本堂の形態をよく表しています。唐様装飾を施した本堂内陣の厨子や須弥壇も同時代のもので、創建当時の作と伝わる本尊の千手観音像や不動明王像・毘沙門天像などが安置されていました。また、本堂東北隅にある供水所は、わが国の阿伽井屋（仏前にお供えする水を汲む場）の最も古い遺構の一つです。これらの建造物や仏像は、いずれも重要文化財に指定されています。

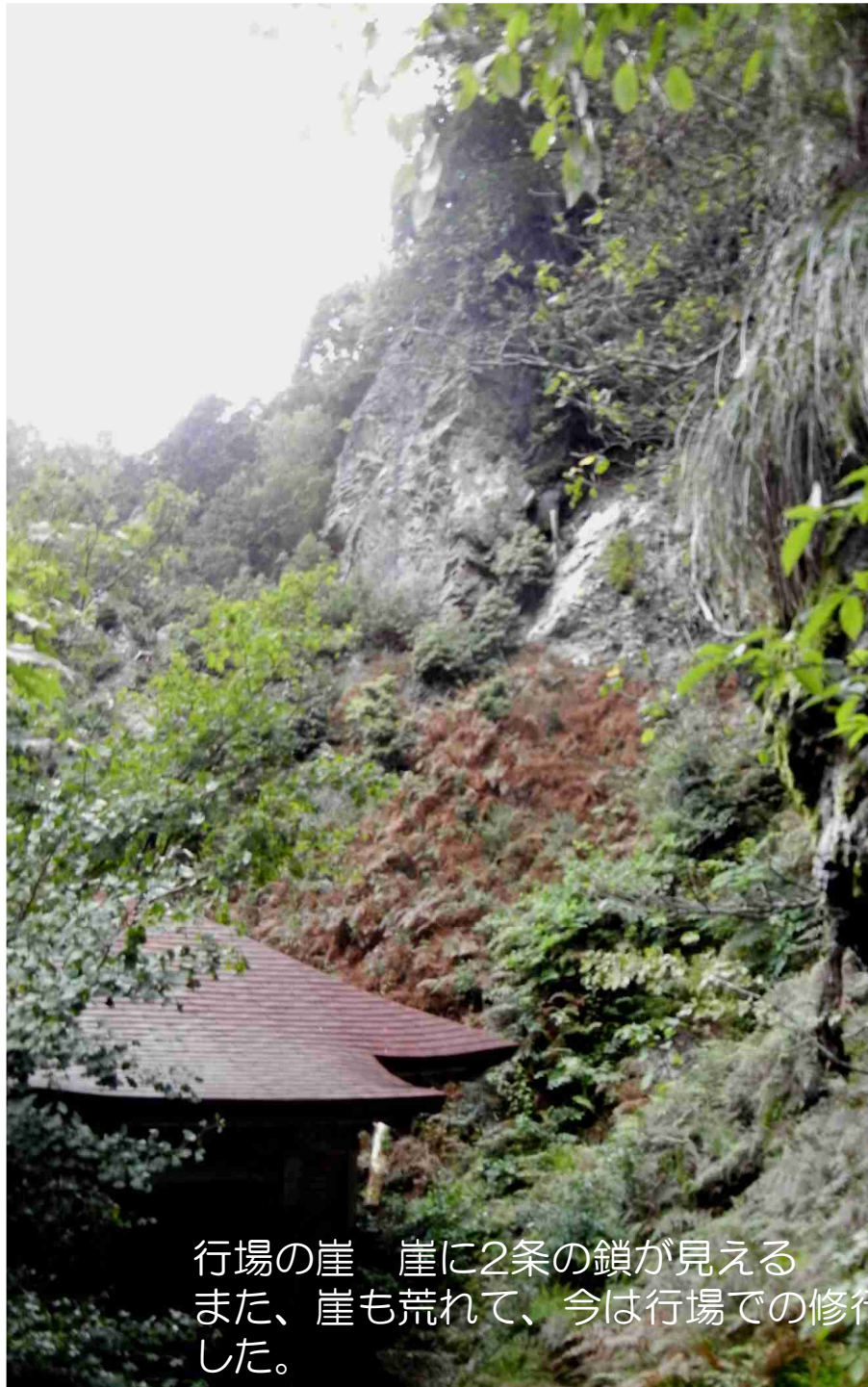
緑と文化の基金

京都府





崖に沿ってジグザクの約420段の階段を登る本堂の舞台が見えてくる 右は行者堂 2012.9.17.



行場の崖 崖に2条の鎖が見える
また、崖も荒れて、今は行場での修行は行われていないと寺の裏方の人にお聞きしました。



自然災害で大木が行者堂の屋根に倒れかかり、





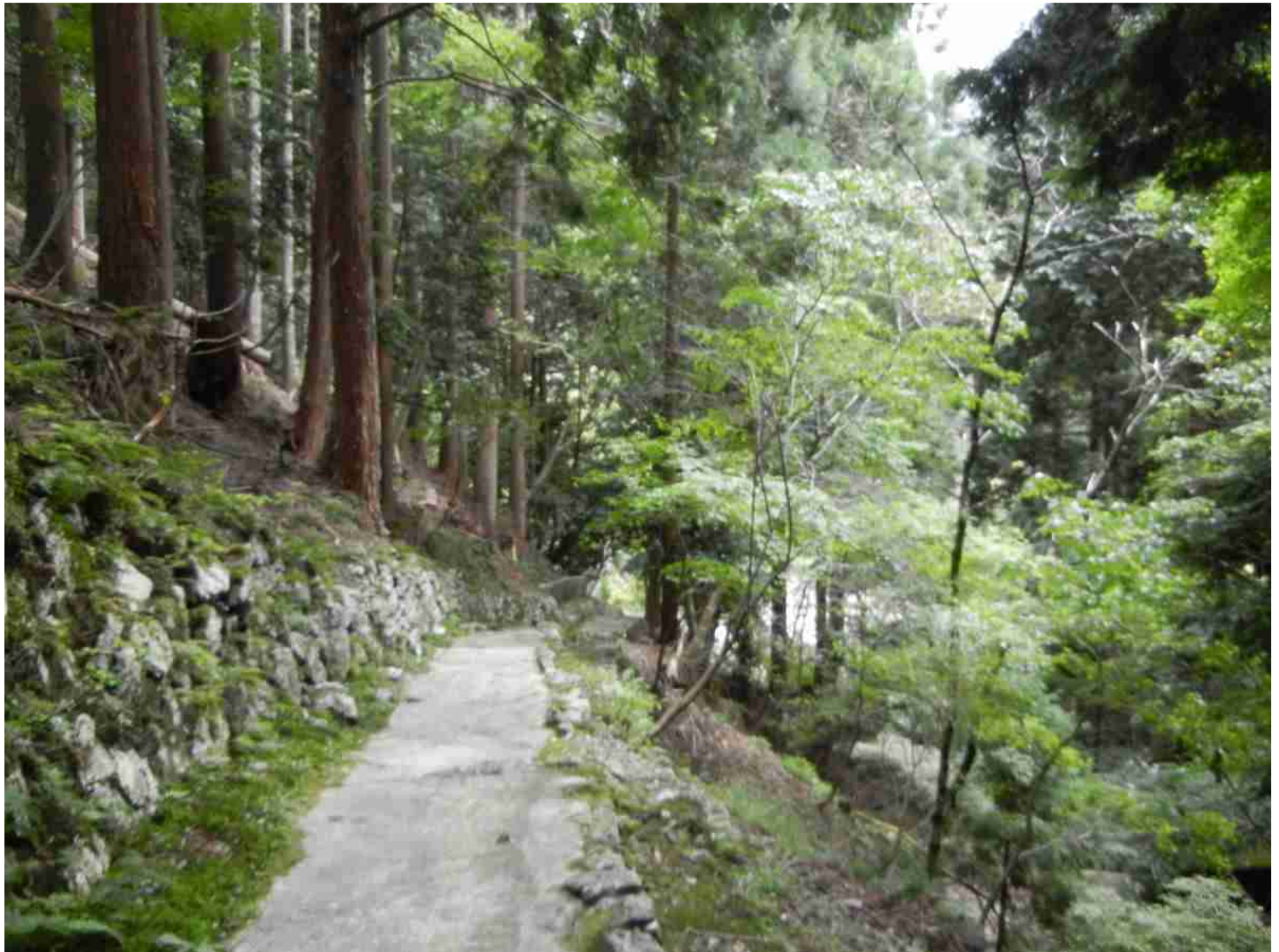


峰定寺本堂 舞台より 2012.9.17.



峰定寺本堂 舞台からの眺望 2012.9.17.











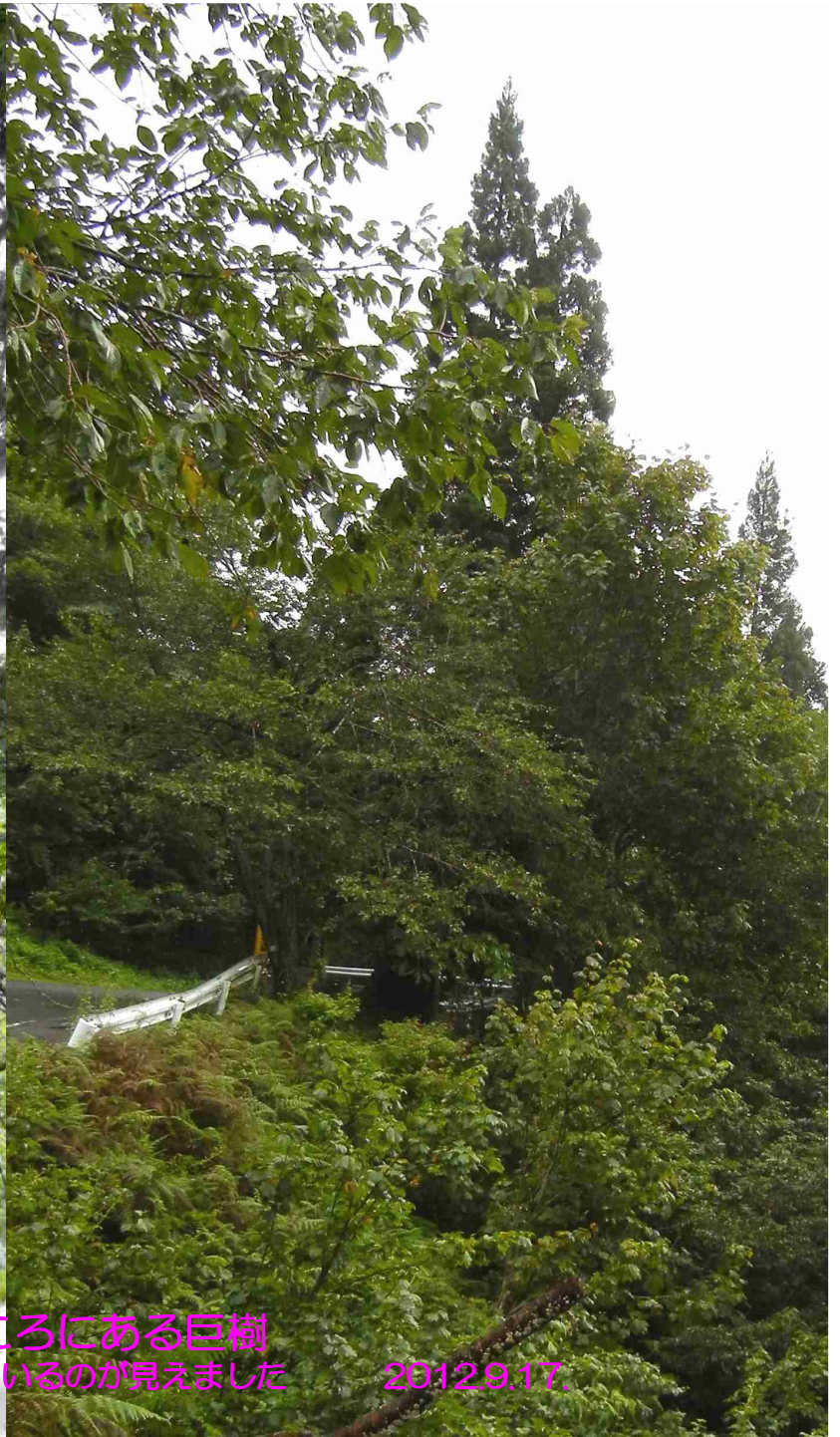
降りだした雨の中 広河原の集落を抜けて 佐々里峠へ向かう 2012.9.17.





佐々里峠への道 2012.9.17.





佐々里峠の手前すぐのところにある巨樹
全体がよくわかりのませんが、離れると頭をのぞかせているのが見えました

2012.9.17.





瀬戸内側 桂川と日本海側 由良川 の 分水嶺 佐々里峠 2012.9.17.



峠を下ると佐々里の集落 ここにも道脇に大きな杉がみえる 2012.9.17.







由良川に注ぐ佐々里川に沿って下る 2012.9.17.



出合橋 左 田敷 右 芦生 芦生から流れ下る由良川本流に出合う 2012. 9. 17.



佐々里川が由良川本流に合流する出合橋

2012.9.17.



由良川源流 美山町 田歌周辺 2012.9.17.

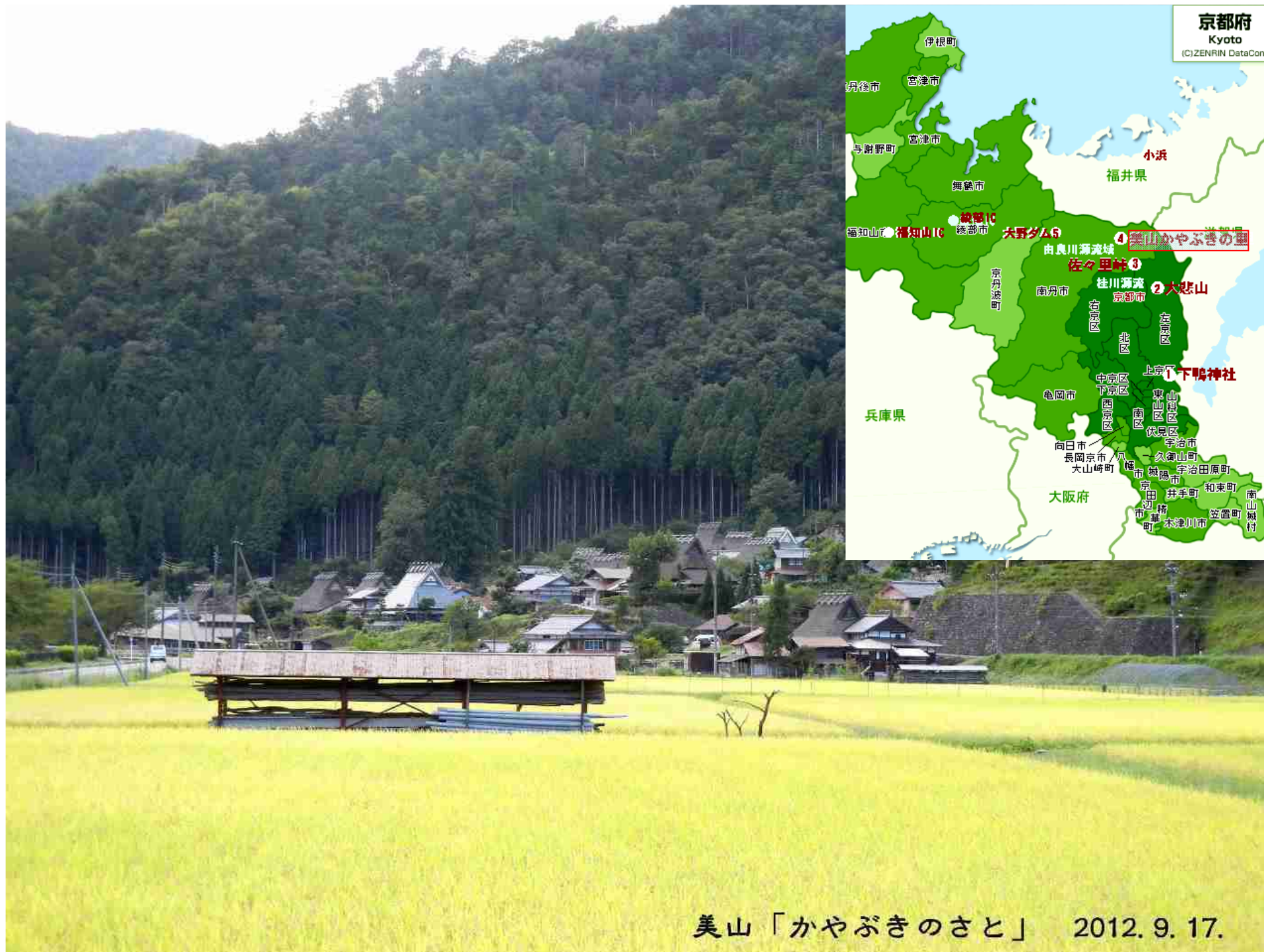


由良川源流 美山町江和周辺 2012. 9. 17.



美しい木造校舎 知井小学校

由良川が東から西へ流れ下る森の里 美山町 2012. 9. 17.



美山「かやぶきのさと」 2012. 9. 17.



美山「かやぶきのさと」 2012. 9. 17.

美山町「かやぶきの里」 2012.9.17.





黄金色の稲穂と白い蕎麦の花 実りの秋を迎えた美山「かやぶきの里」 2012.9.17.





































里はもう秋色 何度か通った由良川源流の街道筋 これだけ多くのかやぶきの家が残っているのにびっくりでした



夕闇の安掛から綾部への道で 稲刈りが終わった田圃では野焼きがはじまっていた



由良川岸 稲刈りを終えた田圃で野焼きが行われていました 2012.9.17



久しぶりに見る京都の水瓶 由良川 大野ダム湖 2012.9.17.



由良川沿いを安掛峠を越えて西の綾部ICに向かう道で 2012.9.17.

久しぶりに花背の峠を越えての京都北山の最奥部 ドライブ
緑の森に包まれた北山 巨樹にも出会えたし、大悲山の舞台に建てたのも久しぶり。
そして 念願の分水嶺 佐々里峠越で由良川源流・美山かやぶきの里へ

盛りだくさん一日でしたが、緑の中で過ごせた一日
本当にこんな近くに深い森・そして古いかやぶきの街並みが残っていることに感激でした。

神戸に帰るので 京都に戻らず 和知から舞鶴自動車道の綾部へ
美山は京都北山のすぐ奥と思っていましたが、やっぱり 遠い。

でも 学生時代によく通ったなつかしい街道筋。
懐かしい地名が次々に出てきて うれしいドライブ 次はまた もみじの時にと……

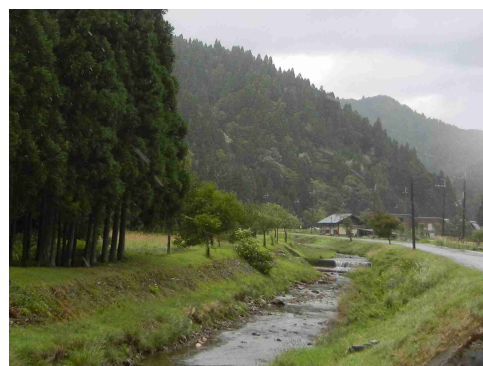
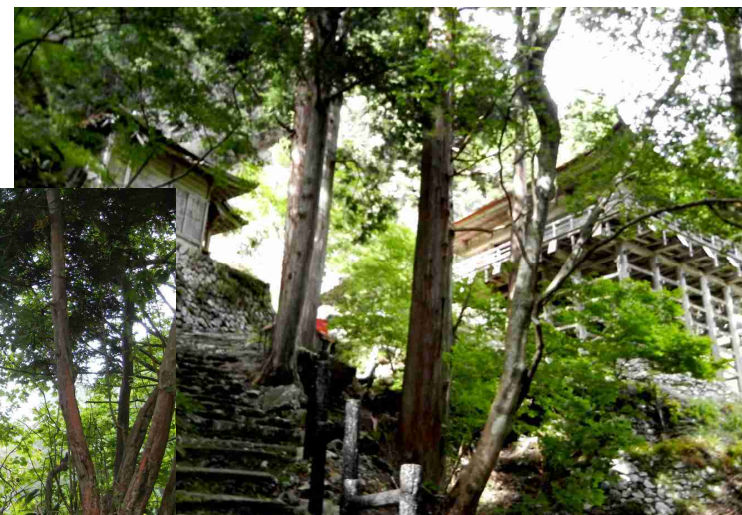
夕闇迫る由良川沿いを西へ 2012.9.17. タム Mutsu Nakanishi



京都北山ドライブ 花脊峠・佐々里峠を越えて 由良川源流へ

北山の森・大悲山 峰定寺・美山「かやぶきの里」を訪ねる

【おわり】





後日 資料作成しながら、インターネットを調べていて、大徳山峰定寺の仁王門から、本堂舞台に登るには 受付・寺務所に連絡して登り、また、境内内撮影禁であるとの記事に接しました。

私が行った17日は「採燈護摩供」の日で、山門前は行事終了で行者さんやお寺の人たちが大勢いらっしや、「今だと千手観音に出会える」と教えてもらい、なんのためらいもなく そのまま入山。 本堂でもお寺の方と話をしながら 舞台からの写真も取りましたが、何も言われずでした。 時間が遅くもう上にいたのは我々二人だけだったからかもしれませんが……。 そんなことで、禁止を知らず、舞台の写真や本堂への登り道 森の写真なども取らせていただきました。

また、インターネットでは 雨の日は入山が出来ないことや荷物は持たずに登ることになっているようで、静寂の行場で かつ崖に付けられた細い階段道での危険回避のためにのように記事を読みました。

そんなんで、今回大徳山入山時の写真が入っていますが、お許しを。

2012.9.20. Mutsu Nakanishi

